

ベニックスソリューション株式会社
東京事業所

この企業の製品と繋がる履修科目

【機械系科目】

機械工学

》》》

繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、川崎重工グループの航空宇宙からオートバイなどの製造に関するERP（SAP）導入のために、製造業の業務を理解する必要があります。製造に使用しているIT機器の管理をするためには、工場の機器の制御についての知識も必要になり、Tivoliを導入するためには、製造業で利用するITに精通している必要があります。**機械工学で学ぶ、製品の構造や性能を設計するために必要な、機械の力学や材料工学、制御技術などの基礎知識が役立ちます。**

制御工学

》》》

繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、川崎重工グループの航空宇宙からオートバイなどの製造に関するERP（SAP）導入のために、製造業の業務を理解する必要があります。製造に使用しているIT機器の管理をするためには、工場の機器の制御についての知識も必要になり、Tivoliを導入するためには、製造業で利用するIT機器や計測器に精通している必要があります。**制御工学で学ぶ、制御理論、自動制御、フィードバック制御などの基礎知識が役立ちます。**

計測工学

》》》

繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、川崎重工グループの航空宇宙からオートバイなどの製造に関するERP（SAP）導入のために、製造業の業務を理解する必要があります。製造に使用しているIT機器の管理をするためには、工場の機器の制御についての知識も必要になり、Tivoliを導入するためには、製造業で利用するIT機器や計測器に精通している必要があります。**計測工学で学ぶ、追跡性（トレーサビリティ）、計測器の特性、計測器の誤差、統計処理などの基礎知識が役立ちます。**

【電気系科目】

電力システム工学



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造で利用する工場内の情報として、電力設備からIoT機器やセンサーから出力される情報を集約し管理する必要があります。電力システム工学で学ぶ、電力系統の特徴と系統連系、直流送電と交流送電や電力系統の安定性、周波数及び電圧の制御、経済的な運用、故障特性などの基礎知識が役立ちます。

通信工学



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造で利用する工場内の情報として、電力設備からIoT機器やセンサーから出力される情報を集約し管理する必要があります。通信工学で学ぶ通信の方法や規格の知識が役立ちます。

【情報系科目】

コンピュータ（計
算機）工学



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造に関する設計、製造、工場内のIoTやセンサーから出力される大量の情報を管理する必要があります。また、利用されている計測器、工場内のIT機器の管理およびメンテナンスが必要となります。それら大量の情報を管理するアプリケーションの開発も必要となります。**コンピュータ（計算機）工学で学ぶハードウェアとソフトウェア、コンピュータアーキテクチャやインターフェースのなどの基礎知識が役立ちます。**

データベース



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造に関する設計、製造、工場内のIoTやセンサーから出力される大量の情報を管理する必要があります。また、利用されている計測器、工場内のIT機器の管理およびメンテナンスが必要となります。それら大量の情報を管理するアプリケーションの開発も必要となります。**データベースで学ぶ、蓄積方法、そして統計的科学的に分析方法などの基礎知識は活かされます。**

信頼性工学



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造に関する設計、製造、工場内のIoTやセンサーから出力される大量の情報を管理する必要があります。また、利用されている計測器、工場内のIT機器の管理およびメンテナンスが必要となります。それら大量の情報を管理するアプリケーションの開発も必要となります。**信頼性工学で学ぶ、信頼性と品質管理、寿命分布と故障率や故障解析などの基礎知識が役立ちます。**

ソフトウェア工学



繋がる理由

川崎重工グループの情報基盤は、30,000人の利用者が使用する大規模の情報基盤であり、グループ会社の航空宇宙からオートバイなどの製造に関する設計、製造、工場内のIoTやセンサーから出力される大量の情報を管理する必要があります。また、利用されている計測器、工場内のIT機器の管理およびメンテナンスが必要となります。それら大量の情報を管理するアプリケーションの開発も必要となります。**ソフトウェア工学で学ぶ、設計手法やオブジェクト志向の知識が役立ちます。**

この企業のポイント

- 川崎重工業グループの利用者30,000人を支える情報基盤の構築・運用を実施しています。
- 業界初のコンソーシアム方式で運営されているGRANDITの開発に初期メンバーとして参画しているため、質の高いノウハウで対応

製品はここで使われています！

ベニックスソリューション株式会社は、航空宇宙からオートバイなど一般消費者向け製品まで、多岐にわたる製品を個別生産や連続生産など多様な方式で生産する川崎重工業株式会社のIT化に参画することで、グローバルスタンダードであるSAP R/3、Tivoliなどを主軸に、ネットワーク、アウトソーシング分野に、ハードウェアを含めてソリューションを提供しています。